

海外留学報告書

【参加者B】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	4	年
プログラム名	交換留学					
留学期間	西暦 2023 年 8 月 22 日 ~ 2024 年 5 月 4 日 約9ヶ月					
留学先 (国・地域)	アメリカ合衆国	留学先大学名	Saint Martin's University			

1. 留学した理由、目的・目標	<p>小学生の頃から留学をしたいという目標があり、英語力の向上を目指していたからです。私は二年次から英語学習に特化した本学の英語特別クラスで英語の基礎を積んできました。海外で授業を受けるという経験は学生である今しか中々経験できないことだと思います。今の私の宿命である若さを生かし英語力向上に励み乍ら様々な文化に触れることで経験と視野を広げ、将来は留学で培った英語でのコミュニケーション能力と共に世界を舞台に活躍できる職業を目指したいと考えました。</p>
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	<p>前期はESLクラスにてリスニング・スピーキング・ライティング・リーディングの4教科とアメリカの文化について勉強しました。ESLクラスでの授業は基礎的な内容が多く、私にとって苦手な項目をもう一度丁寧に振り返ることが出来る貴重な時間となりました。前期は私の英語基盤を更に強化する時間でした。英語力を確認するテストを受けた後に、後期からは自分自身で学びたい教科を選択出来る様になりました。私の専門としている観光学は学ぶ機会がありませんでしたが、日本の大学やESLクラスでは出来なかった現地の学生と共に授業を受ける経験は私にとってとても良い刺激となりました。</p>
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	<p>私は留学を経験して英語で会話することに自信ができました。日本では海外の方と会話をする機会が殆ど得られず、授業のテストやTOEICなどから実力を確認するのみで自分自身がどれだけネイティブの英語を聞き取ることが出来、話せるかが分かりませんでした。その為、人と英語で会話する事にためらい、間違った英語を話すことを恐れていました。けれど、この留学で沢山の友人と出逢い、様々なストーリーを語り合う時間のお陰で、英語で自分の気持ちを表現することに慣れ、言いたいことが言える、相手に伝わる機会が圧倒的に増えたと思います。まだまだ分からない単語や理解ができない会話が多々ありますが、友人に教わったり、自分で調べたりする習慣が私を成長させたと自負しています。</p> <p>私は初め、アメリカに対して危険で人を誰も信用してはいけないという強い固定概念を持っていました。実際は、留学で安全な地域に住んでいるということもありますが、出会う人皆がとてもフレンドリーで、あたたかい方達ばかりでした。私はアメリカのフランクで親しみやすい雰囲気が大好きになりました。一方で、この留学を通じて日本の街の清潔さや人々の謙虚さ、交通機関の正確さを改めて誇りに感じる瞬間もたくさんありました。</p>
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	<p>今後は、更に語学向上に努め、世界で活躍する客質乗務員を目指します。今年大学4年生を迎えた私は、アメリカで授業を受け乍ら先生方の手厚いサポートの中、就職活動にも懸命に取り組んで来ました。現地で学んだフランクで親しみやすいコミュニケーション能力と、日本人の謙虚で心配りができる優しい性格を備えたハイブリットな客質乗務員となり、日本の魅力とおもてなしを世界中にお届けできるような存在になりたいです。失敗を恐れず、新しい事や高い目標に向かって努力を続けていきたいと思っています。</p>
5. 自由記述	<p>【語学テスト結果】 留学前: TOEIC585 留学後: TOEIC680</p>

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者E】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	交換留学					
留学期間	西暦 2023 年 8 月 22 日 ~ 2023 年 12 月 15 日 約4ヶ月					
留学先 (国・地域)	アメリカ合衆国	留学先大学名	Saint Martin's University			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学した理由は2つあります。まず1つは長期間異文化に触れてみたかったことです。もう1つは自分の英語のスキルを上げたかったからです。就活の前に自分の価値観や文化に対する偏見などを変えることと、日本語以外の言語を学ぶことで将来に役立つと思っていたので留学に行きました。ですので、留学前に決めていた目標は、できるだけ沢山のひとと英語で話すことと休みの日でもできるだけ活発に行動すること、積極的にプログラムに参加することでした。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	最初の二週間は、他の国の留学生と共にオリエンテーションとして大学の授業や寮の説明を聞いたり、大学が提供してくれる様々なアクティビティを体験したりしました。二週間後にはすぐ授業が始まり、平日はキャンパス内で授業、食事、ジムで運動をしたり課題に取り組んだりしました。食事は、大学のメインの建物にカフェテリアがあり、大学の個人IDカードを使って食事ができます。休日には、シアトル観光やハイキング、かぼちゃ畑など大学が日帰り旅行を実施してくれることもあり、友人と一緒にシアトルの水族館に行ったりショッピングや外食をしたりもできました。寮では共有キッチンで料理を振舞い合ったり、テレビゲームをしたりと寮の中で交友関係が広がったと思います。私はESLの授業を2つ、メジャークラス(学部授業)を2科目受けました。ESLではアメリカの文化を学びながらボキャブラリーやライティングスキルを伸ばし、メジャークラスではアートとスペイン語の授業を選択し、スペイン語は朝の8時開始だったため、私にとってはとても早く、また2週間に一度テストがあり大変でした。しかし同じ寮に住むメキシコやスペイン人の友人に助けをもらいながら楽しく学ぶことができました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	現地で生活を送る中でポジティブ、ネガティブ両方のカルチャーショックや新しい発見がたくさんありました。例えば、人種差別がいまだに身近に存在するということです。留学に行く前、私はアメリカという国は多様性の国というイメージを持っていましたが、私が想像もしていなかった場面で軽々しくブラックジョークで人種差別発言をいう人がいて、生まれ育った環境によってこんなにも考え方が変わるのかと驚きました。また、街のいたるところにホームレスの人々が暮らしていて、友人や先生からは夜に出歩くと危ないと教わり、そんなにも治安が良くないのかと驚きました。フードバンクという賞味期限が過ぎていたり痛んでいたりする食材を無料で貧困層の方に提供するボランティアに参加し、この活動は食料を無駄にせず環境にも人々にとっても素晴らしい活動だと感じたと同時に、このような活動がさらにホームレスの増加に繋がっているのではないかと考えました。三か月半という短い期間でしたが、自分なりに毎日新しい学びや発見をしながら、その過程で文化、宗教や価値観の違いを学び、自分なりに理解しようと努力していく中で、同時に語学力向上、自らの成長にもつながったと感じています。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	これまで海外の人と関わることはあっても、こんなにも長い間共に生活し、お互いの価値観の違いに悩まされたり、言語の壁が大きく感じたりしたことはなく、自分自身の未熟さや無知さを再確認しましたが、もっと経験したことのないことに挑戦し知らないことを知りたいと考えるようになりました。自分の好奇心、探求心が以前よりも強くなったと感じるので、今一度、より視野が広がった自分自身の興味関心、卒業後の進路についてももう一度考えるきっかけにしたいと考えます。
5. 自由記述	本当にあつという間の留生活でしたが、毎日自分と向き合い、周りの人にたくさん助けをもらいながら、私の人生で最も充実した三か月半を過ごすことができ、私の人生にとって本当に大きな財産となりました。私はこれからもチャンスを逃さないよう、自分から掴みにいく勢いで貪欲に新しいことに挑戦していきたいと思っています。 【TOEICスコア】 留学前: 705 留学後: 675

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者F】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	交換留学					
留学期間	西暦 2023 年 8 月 22 日 ~ 2023 年 12 月 15 日 約4ヶ月					
留学先 (国・地域)	アメリカ合衆国	留学先大学名	Saint Martin's University			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学した理由は2つあります。まず1つは長期間異文化に触れてみたかったことです。もう1つは自分の英語のスキルを上げたかったからです。就活の前に自分の価値観や文化に対する偏見などを変えることと、日本語以外の言語を学ぶことで将来に役立つと思っていたので留学に行きました。ですので、留学前に決めていた目標は、できるだけ沢山のひとと英語で話すことと休みの日でもできるだけ活発に行動すること、積極的にプログラムに参加することでした。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業は全部で5つありました。アメリカの文化、ライティング、リーディング、スピーキング、文法です。基本的に毎日課題があり曜日によって授業が違いました。もちろん全ての授業を英語で受けるので自然とリスニングのスキルが上がったと思います。また、色んな国からきた留学生とシアトルに行ったり、ボランティアに参加したりもしました。ボランティアでは学校では出会わない人ともお話出来るし、日本で体験できないことが出来たのでとても充実していました。授業の無い日はみんなで遊びに行ったり、パーティーをしたりして有意義に過ごしました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	アメリカでは毎日英語を話したり、新しいことに出会えたので目標の達成度は80%くらいだと思います。授業以外の日でも英語で友達とコミュニケーションをとったり日本語でするような日常会話や冗談を言い合えるようになったことがとても嬉しいです。また、お互いの文化のことを話し合ったり、お互いの国のご飯を作りあったりして日本では聞いた事のない話、味わった事のない料理を体験することが出来ました。アメリカには日本とは違い、本当に色んな人種や容姿の人々が暮らしていて、日本の「普通」が普通じゃないことに驚きました。みんなお互いの違いや文化を理解していました。例えば、学校の食堂や食堂以外のほとんどのレストランにはベジタリアン専用のメニューがあったり、色んな国のレストランがたくさんあります。アメリカでたくさんの異文化に触れることが出来ました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	留学に行く前から自分のコミュニケーション力には自信がりましたが、日本語が話せない状態で人と話さなくてはいけないことに対して、すごく不安を感じていました。しかし、たくさんの人と話すうちに英語を話すことに対する恐怖がほとんど無くなり、日本にいた時よりもコミュニケーションスキルとスピーキングスキルが上がったと思います。また、日本ではない文化を肌で感じる事が出来たため、何事も決めつける癖が無くなったように感じます。これらの事を活かして将来自分の好きな事である「人と話すこと」を仕事に出来たらいいと思います。留学の間に培ったコミュニケーションスキルとスピーキングスキルで日本だけでなく世界のひとと関わり、話せる仕事に就けるようにしたいです。
5. 自由記述	今回、交換留学プログラムに参加することが出来て本当に幸せだと思いました。貴重な体験や大切な友達が増えて本当に有意義な日々でした。 【語学テスト結果】 留学前: TOEIC660 留学後: TOEFL74

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。